広島商船高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	古典Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	1921002	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	一般教科	対象学年	2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	『新　探求古典Ｂ』（古文編）（漢文編）（桐原書店）、『古典文法クリアノート』（尚文出版）。その他、必要に応じて配布する。		
担当教員	朝倉 和		

到達目標

(1)代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。
(2)古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。
(3)代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。また、それらに親しもうとすることができる。
(4)教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	幅広く古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができる。	基礎的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解したり、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりすることができない。
評価項目2	古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができ、それを踏まえた音読・朗読ができる。	古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができる。	古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することにより、特有のリズムや韻などを味わうことができない。
評価項目3	幅広い古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。また、それらに親しもうとすることができる。	代表的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解し、作品の意義について意見を述べることができる。また、それらに親しもうとすることができる。	基礎的な古文・漢文について、日本文学史および中国文学史における位置を理解したり、作品の意義について意見を述べることができない。また、それらに親しもうとすることができない。
評価項目4	教材として取り上げた作品以外についても、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できる。	教材として取り上げた作品について、用いられている言葉の現代の言葉とのつながりや、時代背景などに関する古文・漢文の基礎的知識を習得できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	古典（古文・漢文）を読むことで、日本文化の歴史を理解し、国際人としての基盤を養成することを目的とする。国際人として行動するためには、自国の理解が欠かせない。１年次よりも長文の古典を読むことで、日本文化の多彩な様相について認識を深め、現代の文化の源流を学ぶことができ、日本についてさらに深い理解を得ることができる。古典を学習することは、現代とは違う「ものの見方・感じ方・考え方」を知ることでもある。現代とは異なる価値観を理解しようとし、馴染みのない表現に目を開くことは、広い視野を養い、他者（異文化間・自国間）とのコミュニケーションを実現させる力を養う基礎となる。なお、大学受験を想定しないため、古文の文法や漢文の句法は基礎の習得に留め、内容の理解に重点を置く。
授業の進め方・方法	（１）随時、古典文法や、漢文の訓読に関する小テストを行う。 （２）ノートの取り方は事前に指導するので、毎回、授業範囲分の教科書の本文を写してくること。
注意点	（１）電子辞書や古語辞典、漢和辞典を持参することが望ましい。 （２）学習内容についてわからないことがあれば、積極的に質問すること。

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	1 漢詩の読解 劉禹錫「秋風引」、李白「望廬山瀑布」、杜甫「登高」、頼山陽「題不識庵撃機山図」等	1-(1) 詩形や押韻・対句など漢詩の規則を学び、理解する。 1-(2) 漢詩特有の表現を理解する。 1-(3) 中国の古人の「ものの見方」を理解し、味わう。
		2週	同上	同上
		3週	2 漢文の読解 陶潜「桃花源記」	2-(1) 書き下し文を正しく書くことによって、漢文に慣れることができる。 2-(2) 口語訳を通じて、中国の古人の物の見方、考え方、感じ方を知ることができる。 2-(3) 物語の展開に沿って正確に読解する。 2-(4) 桃源郷が作られた理由をさぐる。桃源郷と大崎上島を比較する。グループに分かれて、「ユートピア（理想郷）」に関して探究する。
		4週	同上	同上
		5週	同上	同上
		6週	同上	同上
		7週	同上	同上

		8週	前期中間試験 答案返却・解説	
	2ndQ	9週	3 古文の基礎	3-(1)動詞・形容詞・形容動詞を復習する。 3-(2)助動詞の識別ができる。 3-(3)助動詞の「ず」「る・らる」「す・さす・しむ」「き・けり」「べし」「なり」等が理解できる。 3-(4)係り結びの法則が理解できる。
		10週	同上	同上
		11週	4 古文の読解 「平家物語」先帝入水	4-(1) 古文の特徴に注意しながら読解する。重要単語・文法事項を注意する。 4-(2) 場面に応じた登場人物の心情を把握する。 4-(3) 口語訳を通じて、我が国の古人の物の見方、考え方、感じ方を知る。 4-(4) 瀬戸内海を舞台とした源平の合戦記を取り扱うことにより、瀬戸内近郊地域・社会に対する興味・関心・理解を深めることができる。 4-(5) ビデオ鑑賞。英訳の読解。
		12週	同上	同上
		13週	同上	同上
		14週	同上	同上
		15週	同上	同上
		16週	前期期末試験 答案返却・解説	

評価割合

	試験	小テスト	レポート・課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	20	0	0	0	100
基礎的能力	70	10	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0